

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490500061	事業の開始年月日	平成19年4月1日
		指定年月日	平成19年4月1日
法人名	大信産業株式会社		
事業所名	グループホームみのり 若さん・宮さん		
所在地	(232-0057) 横浜市内南区若宮町4-81-6		
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	☒ 認知症対応型共同生活介護	定員 計	26 名
		ユニット数	3 ユニット
自己評価作成日	2025. 3. 1	評価結果 市町村受理日	令和7年10月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・コロナ禍の不自由な生活期間による、ご利用者、ご家族のストレス等心身の健康に留意し安心して暮らせるホーム作りを心がけています。 ・日々の生活でご利用者一人一人が選択する力、考え、希望等を大切にしながらケアに取り組むことを常に目標にしています。併せてご家族様が抱えている希望、不安、心配等思いを相談しやすい環境にしていくために、小さなことでも小まめにお伝えする為多様なツールを用いています。 ・重度化や終末期だけではなく、ご利用者の持病、ご家族の心配・ご要望に応じ、専門のかかりつけ医を探して提案する等柔軟に対応をしています。 それにより入院以外の選択肢が増え、施設での生活を支えていけるようかかりつけ医・訪問看護ステーションとの連携も更に強化し、施設で出来る事・選択肢を増やしています。職員の能力が向上のための勉強会・講習を増やし、職員の持っている知識を活かせる場、資格習得の意欲促進・バックアップ強化等、日々のケアに繋がる様に努めています。 ・消防訓練参加や施設見学会、職業体験の受け入れ等を再開し、ご家族だけではなく、地域の方、学生へ常時開放した施設作りを心掛けています。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	令和7年3月21日	評価機関 評価決定日	令和7年6月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【概要】 当事業所は、市営地下鉄弘明寺駅から徒歩3分、又は京急線弘明寺駅から徒歩7分程の幹線道路から奥まった利便性の良い住宅地に立地している。木造造り3階建ての事業所周辺には、桜並木や中学校、横浜市の複合施設（スポーツセンター、地区センター、地域包括支援センター）、商店街がある。 【利用者の笑顔は食事から】 「笑顔は食事から」という開設当初からの考えに基づき、食事専従職員を配置して利用者の好みの食事の提供している。「おやつレク」でおはぎを作ったり、商店街まで出かけてコーヒーを飲みに行くなど、食を楽しめるよう支援をしている。 【食事や入浴専門のパート職員と単発アルバイトの活用】 食事や入浴専門のパート職員と介護福祉士などの資格を持つ単発のアルバイトを活用して、日中の3人体制を確保し、利用者に関わる時間を作り、一人ひとりの意向に沿ったサービスを提供している。様々なスキルを持つアルバイトの採用が、職員の刺激となり就労意欲の向上に繋がっている。 【入居を希望する方の安全と自尊心に配慮した受け入れ・支援体制】 病院送迎による人工透析が必要な方やストーマ造設している方や障害のある方、生活全般を自分のペースでひとりで行なうことを希望し入浴に1時間以上を費やす方、入院して褥瘡ができた方を家族の希望で退院させて再度受け入れ看取るなど、職員は利用者の安全や自尊心に配慮し、出来得る限り利用者の希望に沿った支援をしている。
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホームみのり若さん・宮さん
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
		○	4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は理念を共有する為、共有部に貼り出し、全体会議やフロア会議で再認識する場を設け、常に理念を念頭におき日々のケアに取り組んでいます。	法人の理念「ご利用者様・ご家族様はもちろんですが、地域の皆様や私達職員を含めてすべての関係する人々が、いつまでも笑顔が溢れる輝いている世界を目指しています。」を事業所の理念とし事業所内に掲示し共有している。管理者の方針「どなたも受け入れ信頼される事業所に」を全体会議で職員に伝え協力を求め、障がいのある方など一人ひとりに合わせたケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ感染症対策が5類になり、ご利用者の外出も増えた事で、地域の方々との関りが少しずつ増えています。顔見知り以外の方から挨拶をして頂き、ご利用者も挨拶される事が増えています。	若宮三・四丁目町内会に加入し、回覧板を介して地域の情報を得ている。次年度は事業所が町内会の班長を引き受けることが決まっており、定例会への出席や回覧物の配布などを担う予定である。近隣の方とは散歩時などに挨拶を交わしている。コロナ禍で中断していた地域に向けた施設見学会や中学生及び定時制高校生の職業体験の再開を検討している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ感染症が5類になり、見学、相談を再開している。運営推進会議を通じて近隣の方へも事故事例や認知症対応の一例を提示したり、数年ぶりに消防訓練参加・見学等の声掛けを開始しました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ感染症が5類になり、運営推進委員会は隔月で実施しています。施設と地域での出来事等の報告を通じて、地域の事を知れています。地域の行事も少しずつ参加様にもしています。それにより地域からの相談事へ対応中です。1階ご利用者義兄様のご家族代表として参加頂いております。	運営推進会議は、家族代表、町内会会長、民生委員、地域包括支援センター職員、事業所職員をメンバーとし、奇数月に開催している。1階の共用廊下に外部評価受審結果と議事録を提示し誰もが閲覧できるようにしている。会議では外部評価受審結果を伝えている。家族の代表からの非常時の協力の申し入れと「家族の安心に繋がる」との意向を受け、災害マップの提供を受け、活用している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	主に電話での連絡を行い、協力関係構築に取り組んでいます。新入居時にケースワーカーが来設される時は、管理者等が立ち合い、情報共有をしています。	区の高齢・障害支援課には、運営推進会議の議事録を郵送している。新しい介護保険被保険者証が未着の際などに電話でやりとりをしている。生活保護費受給者が7名に増え、区の生活支援課との連携が主になっている。職員が来所した際に利用者の様子を伝え、おむつ支給の対象にならない利用者の対応などで相談している。地域包括支援センター主催の地域会議に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる	施設全体が利用者の自宅という思いを全職員が持ち危険のないよう見守りながら自由に過ごして頂いており、防犯目的での玄関の施錠以外ではしていません。但し例外的に安全保持の為の拘束をする事もあります。	指針を整え、月1回開催するリーダー会議の中で身体拘束適正化委員会を行なっている。月1回開催するフロア会議で委員会議事録をもとに内容を共有している。褥瘡を防ぐ目的で寝返りしづらくしたことが、身体拘束にあたるかを介護指導課に問い合わせた結果「拘束には至らないが適切な対応をしてほしい」という見解を受けた事例がある。勉強会で事例検討などをして身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が虐待を正しく理解出来るよう具体例を上げ勉強会を定期開催しています。身体拘束や、虐待を発生させない為、職員とのコミュニケーションを密に取り、面談を増やし相談しやすい環境作りをしています。	指針を整え、月1回開催するリーダー会議の中で虐待防止委員会を行なっている。月1回開催するフロア会議で委員会の内容を共有している。勉強会で管理者は、日々のケアの中で利用者との会話を増やし、本人を知ること努めるよう職員に伝えている。不適切なケアについては、職員間のコミュニケーション不足やストレスが一因と捉え、虐待が見受けられた際は別フロアに応援を頼むことや通報義務があることを職員に伝えている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の必要性について、フロア毎に職員に周知をし、それに合わせた対応を取れるようにしています。当該者不在のフロア職員にも書面にて周知を図っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時には、利用者、家族に疑問点を作らないよう、十分な時間をかけ丁寧に説明をするとともに、時間わず質問、相談がしやすいようツールを増やす等環境を整え、迅速に柔軟に対応しています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談等窓口を周知をし、いつでも対応できるようにしています。外部評価での家族アンケート内容を全職員に周知をし、迅速に改善を図れるようにしています。ご家族からの要望にもフロアで周知・検討会を開催し、可能な範囲で迅速に対応をしています。	「ご家族の皆様へ」の便りには利用者ごとのコメントを添えて家族などに送付し利用者の様子を伝えている。家族の意見・要望は、電話連絡や面会時のほか、管理者の個人携帯のメールを活用し把握している。今年度はクリスマス会に家族（1ユニット）を招待し交流している。家族から「面会対応を自由にして欲しい」との要望があり、利用者の状態を判断して個々に対応した。	
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に会議・職員面談を行い、話せる場を増やしてします。職員の長所を発見し本人へ伝え、改善すべき点は明確にし、一緒に考えていく時間を継続しています。職員の意見により匿名での意見用紙も用意しています。	職員の意見・提案は、管理者が日々の会話や毎月のユニット会議、年2回の個人面談などで聞き出し、相談にも乗っている。職員からの意見・提案については、職員が前向きに取り組めるよう話し合っている。職員の要望で色鉛筆やCDデッキなどの物品購入に応じているほか「介護職員が少ない」という意見に対応し単発バイトを採用し充足している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の特性に合わせた育成を目指しており、個性を活かせる環境づくりを心掛けています。自ら向上心を持てるよう本人の希望する研修へはできる限り参加できるようにしています。管理者とは別に上位者による面談も定期的に実施しています。	管理者は職員の様子を上司に日常的に伝えている。人事考課制度を採用し管理者が1次評価し法人部長が2次評価をして賞与などに反映している。事業所では、就業規則に基づき健康診断の実施や休憩場所の確保し、希望休の取得などにつなげている。職員の特性に合わせて話すことが不得意な職員にはパソコン作業、工作が得意な職員には装飾作業などの担当を決め各自のやりがいに繋げている。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員会議で各自の意見を反映させるようにしています。分からないことはライン等も活用し不安の解消を図っている。研修は自ら研修を行きたい際は積極的に参加を支援している。消極的な職員へは本人の性質等を考慮しています。	研修計画を作成し法定研修を行っている。研修に参加できなかった職員には、資料などを配布し自己学習した後に報告書を提出してもらっている。今年度は外部研修に参加する機会がなく、管理者が行政主催の感染症と業務継続計画関連の研修に参加するのみであった。認知症介護基礎研修や介護福祉士など定められた研修は、受講後に指定した年数の勤務を条件に受講料、交通費を会社が負担している。介護福祉士資格取得者には手当が支給される。	人手不足などで時間取れないなどの課題がありますがWeb講習の活用などを含め、外部研修などの受講の機会が増えることを期待します。また、介護のICT化の具体的検討も徐々に進めてはいかがでしょうか。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市の各グループホーム連絡会へ所属していますが、人手不足等により会合へ参加が出来ていません。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談時から利用に至るまで、ご本人の不安や、困っていること、希望等を十分な時間をかけ聞くように心がけています。関わる事でその方を知れない事を職員へも周知しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時から利用に至るまでのご家族様の不安や悩み、要望を十分な時間をかけて聞くようにし、ご本人様と共により良い方向に考えられるように継続的に支援しています。ご家族の希望に応じたツールでのやり取りや不安や心配事へは時間を問わない対応を行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	可能な選択肢を提示し、自己解決ができるように支援します。電話相談でも、丁寧な対応を心がけ、相談者の状況に合わせて、市町村のサービス、介護保険サービス等を公平な立場で説明するように努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介助を行っている以外の多くの時間で話し合う機会を持ち、お一人一人を知り、一緒に行動する事で信頼関係を築きながら支援していいいます。職員はご利用者の継続する時間の一部にのみ関わっている事を説明し、それ以外の時間への配慮を念頭に置いた対応を心掛けています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	悩み、相談、不安など話しやすい状況、関係を築く事を優先して支援しています。反面職員から家族へ、気づきや相談を行う事でコミュニケーションを密に取っています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に関する制限も解除し、ご家族やご友人と自由な交流を図っていただいています。ご家族も一緒に外出する方が増えています。	利用開始時のアセスメントや家族から情報を得て、利用者の馴染みの関係を把握している。学生時代の部活動の仲間数名が来所し思い出話に花を咲かせている。家族と自宅に立ち寄ったり墓参りに出かける方がいる。利用開始前に行なっていた趣味の刺し子やジグソーパズルを継続している方がいる。家族が持参する好みの乳飲料や生花などの取り次ぎ支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の状態を考えた座席や職員配置にし、無理なくコミュニケーションがはかれ、入居者様同士の良好な関係構築の為の支援をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談等あれば応じ、支援を行っています。サービス終了時にご家族へも相談可能な事を伝えています。写真等もお送りしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常に本人の立場になって考えながら、日常の様子、表情、話の内容や行動により汲み取り支援しています。難しい場合はフロア会議で気づきや意見交換をし、把握に努めています。	利用開始後は、日頃の会話、散歩や入浴時など職員と2人になる時に思いや意向を把握する機会があり、把握した情報は、個人記録で共有し支援に活かしている。夜に洗濯をするなど日常生活全般を自分のペースで行うことを希望する利用者には見守り方に配慮し支援している。意思疎通が困難な利用者については顔をしかめるなどの反応を見逃さないようにして支援につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族より今までの生活状況を聞き、それを職員で共有をし、入居後の会話で得た情報を記録に残し、全職員での把握に努めています。その為、個人記録とは別に職員の気付きを書く情報表を使用し、より早く情報共有が行えるようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活スタイル、ペースを尊重し、不安や困った事はないか等、現状把握に努め、共同生活での役割や居場所が見つかるような支援をしています。他利用者との会話等にもヒントが有り気を付けています。		
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人に関わる関係者から、今までの暮らしや役割などを聞き、本人の気持ちや、できる事できない事したい事をくみ取り介護計画に反映しています。また、情報は職員全員が発言出来、共有出来るようにしています。	本人の希望や家族の意見、訪問マッサージなど必要な関係者の意見を反映した介護計画を作成している。介護記録に個別支援計画のサービス内容の記録番号を列挙し、実施したことの番号と内容を結びつけて記録している。気づきや課題を把握し、介護計画作成に反映させている。短期目標について半年に1度、モニタリングを行ない見直している。状態に変化が見られた際は随時見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の心身の様子、言動、些細な変化等も詳細に記録に残し、職員全体で共有し、定期的にモニタリングシプランの見直しをしています。個別支援計画に変更し、職員みずからが必要なケアを考え見つけて行くようにしています。特に1階は多岐に渡るタイプのご利用者が多く、職員も大事さを理解し取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	希望や状況により、マッサージ、リハビリ等の提案や探す手伝い・対応・報告等支援しています。1階ではご利用はありません。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ感染症が5類になり、周辺地域の支援によりイベント等の情報や設備の利用や参加を無理のないよう支援を再開しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及びご家族様が安心して信頼出来るかかりつけ医を選択し、利用できるよう、複数の医療機関と連携をし支援しています。ご家族の心配・要望に応じた新たなかかりつけ医等も対応しています。	24時間対応の協力医療機関4ヶ所のうち、利用者選んだ医師の訪問診療を月2回受診している。希望者は、月2回、歯科医の訪問診療を受診している。従前からのかかりつけである歯科医の訪問診療を受診する方もいる。整形外科などの専門医の通院は、家族や職員が行ない受診結果は「申し送りノート」に記入して情報共有している。病院の送迎による透析受診や訪問マッサージの支援をして適切な治療が受けられるよう支援している。週1回健康観察のため、看護師が来所した際にストマ対応などの相談をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度の訪問看護師による日常の健康管理を行い、必要に応じて個々のかかりつけ医と連携をはかっております。定期的に看護、介護でカンファレンスを行うい、お互いの気づきを情報交換し、適切な受診、看護を受けれるようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時必要に応じて病院に伺い病状や今後の対応について説明を受け、ご本人にとって最適な環境整備が出来るよう主治医との面談にも同席することがあります。かかりつけ医とは退院前に情報共有をしています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日々の身体の様子を詳細にご家族様に伝え、同時にかかりつけ医への相談を行い終末期の指針を定め、関係者で何度も相談をしチームケアでの支援に努めます。また、思いや方針が変わる事も想定し、臨機応変に対応しています。他フロア職員にも協力を仰ぎ全館で取り組む事もあります。	契約時に救急車を呼んだ時に問われる内容をアンケートにした書面で、家族に意向を確認している。利用者が重度化した場合は、医師や家族と相談しながら「看取り介護における対応指針」に基づいた事業所の方針を説明し、同意書を得ている。今年度は3名の看取り実績がある。事業所から病院に移り2週間で褥瘡ができたことがあり、家族の希望で看取りのために事業所に戻ってきた方がいる。看取り介護の振り返りとして感想や反省点などを話し合い、次回に活かせるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変、事故発生時の対応はマニュアル等で周知し、全職員で原因・対策について話し合い、再発防止に努めています。また、発生日や翌日の早い段階で会議を開き、原因や対策等、情報共有をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進委員会や地域の消防署より情報を得ています。避難訓練の回数、内容を増やして実施、担当者による定期的な備蓄の確認をしています。消防署、地域の方と連携をした避難訓練を行い継続予定です。また、施設内の避難訓練結果は消防署にも報告しています。1階は作り違う事への対策も取っています。	夜間の地震と火災を想定した訓練を行なっている。消防署員立ち合いの訓練で、上の階から階段を使って毛布と紐で人を降ろす方法を教えてもらい契約社員にも伝えている。避難訓練への参加を地域住民に呼び掛け、災害時は町内会長や目の前の公共施設に協力を依頼するよう職員に伝えている。災害備蓄品はリストを作成し3日分の食料と飲料水のほか、生活備品などを準備している。災害に備えて浴槽に水を溜めている。BCP（業務継続計画）は、自然災害、感染症ともに作成済である。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人を理解し丁寧な言葉での声掛け、対応を心がけ、また周囲の方を気にすることがないように、内容、声の大きさ、声掛けの場面等も考慮しています。	プライバシーを損なわないよう、利用者一人ひとりに応じた言葉がけをしている。羞恥心に配慮し、入浴時は脱衣後すぐにバスタオルで体を覆い、排泄時は扉を閉める対応をしている。職員間で利用者の事を伝える時は、部屋番号で行なっている。家族から「肖像権使用同意書」を得てSNSで発信している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言いやすい雰囲気作り、1対1で時間をかけた対応をしています。自己決定が難しい方は、今までの生活歴等から簡単な質疑等工夫をし、可能な限りの自己決定の支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日を通して、本人のリズムやペースを大切にし、希望は最優先に検討し、可能な限り実行しています。ご本人との関りからヒントを得たその方が喜ぶ提案もしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容の導入、本人の希望を優先し、複数の選択肢の中から選べるような支援をしています。日常の整容や一緒に服を選ぶ等おしゃれを楽しめるようにしています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に負担にならないように配慮しながら、食事の盛り付けや片付けに参加頂いています。食事中も職員2名が同席し安全かつ器等視覚や雰囲気も楽しめるよう工夫しています。その為の席等も配慮しています。	専門業者から配送される食材を使用し調理専門の職員が全員の昼食と夕食を作り、朝食は各ユニットの夜勤職員が作っている。利用者は、盛付けなどを手伝い、おやつレクでおはぎを作ったり、パンケーキにトッピングするなどして食事を楽しんでいる。正月三が日は、特に利用者の好みに配慮して、おせち料理、海鮮丼、ラーメンなどを提供している。弘明寺観音の参道で甘酒など飲んで正月の雰囲気を味わったり商店街のお店にコーヒーを飲みに行ったりしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の好みや嚥下状態に合わせて提供。摂取水分量等記録から不足のないようにし、個々の状態に応じ形状をゼリーやトロミ、夏場はシャーベット等食感や味に変化をつけるなどの工夫をしています。時にはご家族にも協力をして頂き好物の差し入れをしてもらっています。1階は重い持病の方もおり複数回の声掛けに取り組み目安量確保に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後職員が付き添い口腔ケアを行っています。週1度の訪問歯科との連携を図り、職員は口腔ケアの指導を受け、常に義歯調整や清潔を保てるようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄確認表を設置し、排尿・排便パターンの把握に努め、声掛け介助を行っています。食事、水分量、運動を含め医師へも相談し、薬にだけ頼らずスムーズな排便に繋がるよう支援しています。	「排泄確認表」でパターンを把握し、意思表示のない方の定時誘導や利用者の様子に基づく随時誘導を行ないトイレでの排泄を支援している。夜間は睡眠確保に配慮しつつ、トイレでの排泄が継続できるよう定時誘導をしている。夜間のみポータブルトイレを使用する方がいる。利用開始時にリハビリパンツ使用の方が布パンツ使用に改善した事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常より、個々の排便パターン、習慣の把握に努め、水分、食事、運動にて予防しています。また便通に適した運動やおやつの提供、腹部マッサージ等を行っています。1階はストマ装着の方がおり、毎日小まめに排便管理に努めています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週に2回を目安に行っている。それ以外でも希望に添えるようにしている。また外出等での曜日変更や時間調整にも対応し、心身共にリラックスし楽しめるよう1対1の対応で急かす事のない入浴を心掛けています。性別の希望も柔軟に対応しています。	衛生に配慮し浴槽の湯は都度交換し、概ね週2回入浴している。浴槽を跨げない方は、職員2名でシャワー浴の対応している。入浴を好まない方には、拒む理由を把握して促し入浴につなげている。脱衣所に入り出るまで自分のペースで1時間以上費やし、1名での入浴を希望する利用者には、職員が近くで待機し安全への配慮をしている。湯温の調節や入浴剤を使用するなどして入浴が楽しめるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各居室にエアコンを完備し気温管理を行っています。生活習慣を大切に照明の明るさを調整したり、いつでもリラックスした休息がとれるように隣室の物音への配慮もしつつ支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各フロア担当により管理、薬の作用や副作用の把握に努め、常に2人以上で確認し服薬介助を行っています。また事故を防ぐ為、薬準備等は薬剤師に依頼し、適宜相談や説明を受けながら、連携を図っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人らしく生活できるように、出来る事は自分で行えるように支援。好きなこと得意なことの把握に努め本人の希望に添った支援をしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣への散歩や買い物だけではなく、ドライブや少し距離を伸ばした場所への外出も再開しました。コーヒーを飲みながら買い物支援も再開しています。1階は外出希望の方が多く少しの時間でも散歩に行っています。	天気の良い日には、事業所の周辺を車いすを使用している方にも声をかけ、希望する利用者と職員2人で散歩をしている。近隣のスーパーマーケットなどへの買物やお花見を目的のドライブに出かけている。家族と散歩に出かけてる方や外食する方、家族とお酒を飲んで帰ってくる方などもおり、家族と協力しながら利用者が外出できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様より、お小遣いをお預かりし所定の場所での保管をし、外出時や買い物の際は希望に応じお金を使用できるように支援しています。少額ですが管理している方もいます。1名自己管理されています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙は希望があればいつでもやり取りができるよう支援しています。またご家族様から預かった手紙を毎日決められた時間に渡す支援もしています。また、レクの一環で押し花はがき作り、手紙の習慣の無い方にも楽しみ名が手紙通信に参加して貰っています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用のスペースには、利用者様と一緒に作成したものや切り花を飾り、季節感を出し目で楽しめるような工夫をしている、また誕生日や、ご家族様の写真を居室に飾っています。1階は共有場所に近く一緒に飾り付けをして頂いています。	ソファが置かれた居間とは別に、利用者が大半の時間を過ごしている食堂がある。朝日が当たる共用空間は、光が気になる利用者に配慮しこまめにカーテンで調節している。換気にも配慮し、清浄機能付きの加湿器を設置している。季節行事の作品を壁に飾っている。また事業所前の桜並木や近隣住宅の庭に咲く紫陽花、藤などを愛でるなど、周辺環境からも季節の移ろいを感じ取る事ができる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個人の居室以外は全て自由に使用でき、ご利用者様同士の交流やくつろぎの場として利用して頂いています。要望に応じた物の配置や飾り付けの手伝い等支援しています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全に配慮し、家具等なじみの物を使用、設置していただき、入居後も本人の希望、生活パターンに合わせ穏やかに過ごせよう家具の配置、持参品の収納提案等環境作りに努めています。	事業所が、ベッド、エアコン、照明、防災カーテン、ベッドマットを整え、2階と3階のユニットには、クローゼットが備えられている。居室には、使い慣れた鎌倉彫のティッシュケースやテレビ、整理ダンスなどが持ち込まれ、家族の写真や自作のぬり絵などを飾っている。施錠ができる居室の扉の鍵を常に携帯して家で行なっていた戸締りをするように入退室時に鍵をかける方がいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できること、分かることを大切にし手すりの設置、トイレの場所、居室等わかりやすく、一緒に作成した工作物で表示したり、本人の希望や安全を配慮した環境作りにつとめています。付添いはしますが館内の移動は制限はしていません。		

事業所名	グループホームみのり若さん・宮さん
ユニット名	2階

Ⅴ アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1, ほぼ全ての利用者の
		○	2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
		○	4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は理念を共有する為、共有部に貼り出し、全体会議やフロア会議で再認識する場を設け、常に理念を念頭におき日々のケアに取り組んでいます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ感染症対策が5類になり、ご利用者の外出も増えた事で、地域の方々との関りが少しずつ増えています。顔見知り以外の方から挨拶わして頂き、子利用者も挨拶される事が増えています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ感染症が5類になり、見学、相談を再開している。運営推進会議を通じて近隣の方へも事故事例や認知症対応の一例を提示したり、数年ぶりに消防訓練参加・見学等の声掛けを開始しました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ感染症が5類になり、運営推進委員会は隔月で実施しています。施設と地域での出来事等の報告を通じて、地域の事を知れています。地域の行事も少しずつ参加様にもしています。それにより地域からの相談事へ対応中です。1階ご利用者義兄様をご家族代表として参加頂いております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	主に電話での連絡を行い、協力関係構築に取り組んでいます。新入居時にケースワーカーが来設される時は、管理者等が立ち合い、情報共有をしています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる	施設全体が利用者の自宅という思いを全職員が持ち危険のないよう見守りながら自由に過ごして頂いており、防犯目的での玄関の施錠以外ではしていません。緊急時等は主治医・ご家族・行政と相談報告をし対応しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が虐待を正しく理解出来るよう具体例を上げ勉強会を定期開催しています。身体拘束や、虐待を発生させない為、職員とのコミュニケーションを密に取り、面談を増やし相談しやすい環境作りをしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の必要性について、フロア毎に職員に周知をし、それに合わせた対応を取れるようにしています。当該者不在のフロア職員にも書面にて周知を図っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時には、利用者、家族に疑問点を作らないよう、十分な時間をかけ丁寧に説明をするとともに、時間問わず質問、相談がしやすいようツールを増やす等環境を整え、迅速に柔軟に対応しています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談等窓口を周知をし、いつでも対応できるようにしています。外部評価での家族アンケート内容を全職員に周知をし、迅速に改善を図れるようにしています。ご家族からの要望にもフロアで周知・検討会を開催し、可能な範囲で迅速に対応をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に会議・職員面談を行い、話せる場を増やしています。職員の長所を発見し本人へ伝え、改善すべき点は明確にし、一緒に考えていく時間を各リーダー、ケアマネージャー等全役職者継続しています。職員の意見により匿名での意見用紙も用意しています。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の特性に合わせた育成を目指しており、個性を活かせる環境づくりを心掛けています。自ら向上心を持てるよう本人の希望する研修へはできる限り参加できるようにしています。管理者とは別に上位者による面談も定期的 to 実施しています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員会議で各自の意見を反映させるようにしています。分からないことはライン等も活用し不安の解消を図っている。研修は自ら研修を行きたい際は積極的に参加を支援している。消極的な職員へは本人の性質等を考慮しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市の各グループホーム連絡会へ所属していますが、人手不足等により会合へ参加が出来ていません。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談時から利用に至るまで、ご本人の不安や、困っていること、希望等を十分な時間をかけ聞くように心がけています。関わる事でその方を知らない事を職員へも周知しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時から利用に至るまでのご家族様の不安や悩み、要望を十分な時間をかけて聞くようにし、ご本人様と共により良い方向に考えられるように継続的に支援しています。ご家族の希望に応じたツールでのやり取りや不安や心配事へは時間を問わない対応を行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	可能な選択肢を提示し、自己解決ができるように支援します。電話相談でも、丁寧な対応を心がけ、相談者の状況に合わせて、市町村のサービス、介護保険サービス等を公平な立場で説明するように努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介助を行っている以外の多くの時間で話し合う機会を持ち、お一人一人を知り、一緒に行動する事で信頼関係を築きながら支援しています。職員はご利用者の継続する時間の一部にのみ関わっている事を説明し、それ以外の時間への配慮を念頭に置いた対応を心掛けています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	悩み、相談、不安など話しやすい状況、関係を築く事を優先して支援しています。反面職員から家族へ、気づきや相談を行う事でコミュニケーションを密に取っています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に関する制限も解除し、ご家族やご友人と自由な交流を図っていただいています。ご家族も一緒に外出する方が増えています。特に2階のご家族は、元々通っていた場所へ一緒に散歩に行かれています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の状態を考えた座席や職員配置にし、無理なくコミュニケーションがはかれ、入居者様同士の良好な関係構築の為の支援をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談等あれば応じ、支援を行っています。サービス終了時にご家族へも相談可能な事を伝えています。写真等もお送りしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常に本人の立場になって考えながら、日常の様子、表情、話の内容や行動により汲み取り支援しています。難しい場合はフロア会議で気づきや意見交換をし、把握に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族より今までの生活状況を聞き、それを職員で共有をし、入居後の会話で得た情報を記録に残し、全職員での把握に努めています。その為、個人記録とは別に職員の気付きを書く情報表を使用し、より早く情報共有が行えるようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活スタイル、ペースを尊重し、不安や困った事はないか等、現状把握に努め、共同生活での役割や居場所が見つかるような支援をしています。他利用者との会話等にもヒントが有り気を付けています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人に関わる関係者から、今までの暮らしや役割などを聞き、本人の気持ちや、できる事できない事したい事をくみ取り介護計画に反映しています。また、情報は職員全員が発言出来、共有出来るようにしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の心身の様子、言動、些細な変化等も詳細に記録に残し、職員全体で共有し、定期的にモニタリングしプランの見直しをしています。個別支援計画に変更し、職員みずからが必要なケアを考え見つけて行くようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	希望や状況により、マッサージ、リハビリ等の提案や探す手伝い・対応・報告等支援しています。2階ではご希望が3件あり、それぞれのご要望に応じ探すお手伝い、立ち合い・報告等対応をしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ感染症が5類になり、周辺地域の支援によりイベント等の情報や設備の利用や参加を無理のないよう支援を再開しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及びご家族様が安心して信頼出来るかかりつけ医を選択し、利用できるよう、複数の医療機関と連携をし支援しています。ご家族の心配・要望に応じた新たなかかりつけ医等も対応しています。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度の訪問看護師による日常の健康管理を行い、必要に応じて個々のかかりつけ医と連携をはかっております。定期的に看護、介護でカンファレンスを行うい、お互いの気づきを情報交換し、適切な受診、看護を受けれるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時必要に応じて病院に伺い病状や今後の対応について説明を受け、ご本人にとって最適な環境整備が出来るよう主治医との面談にも同席することがあります。かかりつけ医とは退院前に情報共有をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日々の身体の様子を詳細にご家族様に伝え、同時にかかりつけ医への相談を行い終末期の指針を定め、関係者で何度も相談をしチームケアでの支援に努めます。また、思いや方針が変わる事も想定し、臨機応変に対応しています。他フロア職員にも協力を仰ぎ全館で取り組む事もあります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変、事故発生時の対応はマニュアル等で周知し、全職員で原因・対策について話し合い、再発防止に努めています。また、発生日や翌日の早い段階で会議を開き、原因や対策等、情報共有をしています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進委員会や地域の消防署より情報を得ています。避難訓練の回数、内容を増やして実施、担当者による定期的な備蓄の確認をしています。消防署、地域の方と連携をした避難訓練を行い継続予定です。また、施設内の避難訓練結果は消防署にも報告しています。1階は作り違う事への対策、全階への周知も図っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人を理解し丁寧な言葉での声掛け、対応を心がけ、また周囲の方を気にすることがないよう、内容、声の大きさ、声掛けの場面等も考慮しています。2階は意思表示が難しい方が複数名おり、顔色、声のトーン等からも汲み取れるような声掛けを行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言いやすい雰囲気作り、1対1で時間をかけた対応をしています。自己決定が難しい方は、今までの生活歴等から簡単な質疑等工夫をし、可能な限りの自己決定の支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日を通して、本人のリズムやペースを大切にし、希望は最優先に検討し、可能な限り実行しています。ご本人との関りからヒントを得たその方が喜ぶ提案もしています。またご家族にヒント		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容の導入、本人の希望を優先し、複数の選択肢の中から選べるような支援をしています。日常の整容や一緒に服を選ぶ等おしゃれを楽しめるようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に負担にならないように配慮しながら、食事の盛り付けや片付けに参加頂いています。食事中も職員2名が同席し安全かつ器等視覚や雰囲気も楽しめるよう工夫しています。その為の席等も配慮しています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の好みや嚥下状態に合わせ提供。摂取水分量等記録から不足のないようにし、個々の状態に応じ形状をゼリーやトロミ、夏場はシャーベット等食感や味に変化をつけるなどの工夫をしています。時にはご家族にも協力をして頂き好物の差し入れをしてもらっています。2階は水分制限の有る方がおり、声掛け、提供タイミング等工夫をしながら対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後職員が付き添い口腔ケアを行っています。週1度の訪問歯科との連携を図り、職員は口腔ケアの指導を受け、常に義歯調整や清潔を保てるようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄確認表を設置し、排尿・排便パターンの把握に努め、声掛け介助を行っています。食事、水分量、運動を含め医師へも相談し、薬にだけ頼らずスムーズな排便に繋がるよう支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常より、個々の排便パターン、習慣の把握に努め、水分、食事、運動にて予防しています。また便通に適した運動やおやつの提供、腹部マッサージ等を行っています。1階はストマ装着の方がおり、毎日小まめに排便管理に努めています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週に2回を目安に行っている。それ以外でも希望に添えるようにしている。また外出等での曜日変更や時間調整にも対応し、心身共にリラックスし楽しめるよう1対1の対応で急かす事のない入浴を心掛けています。性別の希望も柔軟に対応しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各居室にエアコンを完備し気温管理を行っています。生活習慣を大切に照明の明るさを調整したり、いつでもリラックスした休息がとれるように隣室の物音への配慮もしつつ支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各フロア担当により管理、薬の作用や副作用の把握に努め、常に2人以上で確認し服薬介助を行っています。また事故を防ぐ為、薬準備等は薬剤師に依頼し、適宜相談や説明を受けながら、連携を図っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人らしく生活できるよう、出来る事は自分で行えるように支援。好きなこと得意なことの把握に努め本人の希望に添った支援をしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣への散歩や買い物だけではなく、ドライブや少し距離を伸ばした場所への外出も再開しました。コーヒーを飲みにもや買い物支援も再開しています。2階はお花が好きな女性が多く、近隣の花を見に散歩に行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様より、お小遣いをお預かりし所定の場所での保管をし、外出時や買い物の際は希望に応じお金を使用できるように支援しています。少額ですが管理している方もいます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙は希望があればいつでもやり取りができるよう支援しています。またご家族様から預かった手紙を毎日決められた時間に渡す支援もしています。また、レクの一環で押し花はがき作り、手紙の習慣の無い方にも楽しみ名が手紙通信に参加して貰っています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用のスペースには、利用者様と一緒に作成したものや切り花を飾り、季節感を出し目で楽しめるような工夫をしている、また誕生日や、ご家族様の写真を居室に飾っています。2階は絵や工作好きな方が多く、季節ごとの壁飾りの提案、作成、飾り迄されています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個人の居室以外は全て自由に使用でき、ご利用者様同士の交流やくつろぎの場として利用して頂いています。要望に応じた物の配置や飾り付けの手伝い等支援しています。2階は頻回に模様替えをされる方と一緒に手伝う支援しています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全に配慮し、家具等なじみの物を使用、設置していただき、入居後も本人の希望、生活パターンに合わせ穏やかに過ごせよう家具の配置、持参品の収納提案等環境作りに努めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できること、分かることを大切にし手すりの設置、トイレの場所、居室等わかりやすく、一緒に作成した工作物で表示したり、本人の希望や安全を配慮した環境作りにつとめています。付添いはしますが館内の移動は制限はしていません。		

事業所名	グループホームみのり若さん・宮さん
ユニット名	3階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
		○	4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は理念を共有する為、共有部に貼り出し、全体会議やフロア会議で再認識する場を設け、常に理念を念頭におき日々のケアに取り組んでいます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ感染症対策が5類になり、ご利用者の外出も増えた事で、地域の方々との関りが少しずつ増えています。顔見知り以外の方から挨拶をして頂き、ご利用者も挨拶を返される事が増えています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ感染症が5類になり、見学、相談を再開している。運営推進会議を通じて近隣の方へも事故事例や認知症対応の一例を提示したり、数年ぶりに消防訓練参加・見学等の声掛けを開始しました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ感染症が5類になり、運営推進委員会は隔月で実施しています。施設と地域での出来事等の報告を通じて、地域の事を知れています。地域の行事も少しずつ参加様にもしています。それにより地域からの相談事へ対応中です。3階ご利用者ご家族へ7年度の代表参加をお願いする予定です。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	主に電話での連絡を行い、協力関係構築に取り組んでいます。新入居時にケースワーカーが来設される時は、管理者等が立ち合い、情報共有をしています。特に3階は担当CWがいる方が増え、今まで以上に協力・情報交換が増えています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる	施設全体が利用者の自宅という思いを全職員が持ち危険のないよう見守りながら自由に過ごして頂いており、防犯目的での玄関の施錠以外ではしていません。緊急時等は主治医・ご家族・行政と相談報告をし対応しています。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が虐待を正しく理解出来るよう具体例を上げ勉強会を定期開催しています。身体拘束や、虐待を発生させない為、職員とのコミュニケーションを密に取り、面談を増やし相談しやすい環境作りをしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の必要性について、フロア毎に職員に周知をし、それに合わせた対応を取れるようにしています。当該者不在のフロア職員にも書面にて周知を図っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時には、利用者、家族に疑問点を作らないよう、十分な時間をかけ丁寧に説明をするとともに、時間問わず質問、相談がしやすいようツールを増やす等環境を整え、迅速に柔軟に対応しています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談等窓口を周知をし、いつでも対応できるようにしています。外部評価での家族アンケート内容を全職員に周知をし、迅速に改善を図れるようにしています。ご家族からの要望にもフロアで周知・検討会を開催し、可能な範囲で迅速に対応をしています。		
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に会議・職員面談を行い、話せる場を増やしてします。職員の長所を発見し本人へ伝え、改善すべき点は明確にし、一緒に考えていく時間を各リーダー、ケアマネージャー等全役職者継続しています。職員の意見により匿名での意見用紙も用意しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の特性に合わせた育成を目指しており、個性を活かせる環境づくりを心掛けています。自ら向上心を持てるよう本人の希望する研修へはできる限り参加できるようにしています。管理者とは別に上位者による面談も定期的に実施しています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員会議で各自の意見を反映させるようにしています。分からないことはライン等も活用し不安の解消を図っている。研修は自ら研修を行きたい際は積極的に参加を支援している。消極的な職員へは本人の性質等を考慮しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市の各グループホーム連絡会へ所属していますが、人手不足等により会合へ参加が出来ていません。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談時から利用に至るまで、ご本人の不安や、困っていること、希望等を十分な時間をかけ聞くように心がけています。関わる事でその方を知れない事を職員へも周知しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時から利用に至るまでのご家族様の不安や悩み、要望を十分な時間をかけて聞くようにし、ご本人様と共により良い方向に考えられるように継続的に支援しています。ご家族の希望に応じたツールでのやり取りや不安や心配事へは時間を問わない対応を行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	可能な選択肢を提示し、自己解決ができるように支援します。電話相談でも、丁寧な対応を心がけ、相談者の状況に合わせて、市町村のサービス、介護保険サービス等を公平な立場で説明するように努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介助を行っている以外の多くの時間で話し合う機会を持ち、お一人一人を知り、一緒に行動する事で信頼関係を築きながら支援しています。職員はご利用者の継続する時間の一部にのみ関わっている事を説明し、それ以外の時間への配慮を念頭に置いた対応を心掛けています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	悩み、相談、不安など話しやすい状況、関係を築く事を優先して支援しています。反面職員から家族へ、気づきや相談を行う事でコミュニケーションを密に取っています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に関する制限も解除し、ご家族やご友人と自由な交流を図っていただいています。ご家族も一緒に外出する方が増えています。3階は面会が少ない方が多く、職員との散歩・買い物を増やしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の状態を考えた座席や職員配置にし、無理なくコミュニケーションがはかれ、入居者様同士の良好な関係構築の為の支援をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談等あれば応じ、支援を行っています。サービス終了時にご家族へも相談可能な事を伝えています。写真等もお送りしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常に本人の立場になって考えながら、日常の様子、表情、話の内容や行動により汲み取り支援しています。難しい場合はフロア会議で気づきや意見交換をし、把握に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族より今までの生活状況を聞き、それを職員で共有をし、入居後の会話で得た情報を記録に残し、全職員での把握に努めています。その為、個人記録とは別に職員の気付きを書く情報表を使用し、より早く情報共有が行えるようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活スタイル、ペースを尊重し、不安や困った事はないか等、現状把握に努め、共同生活での役割や居場所が見つかるような支援をしています。他利用者との会話等にもヒントが有り気を付けています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人に関わる関係者から、今までの暮らしや役割などを聞き、本人の気持ちや、できる事できない事したい事をくみ取り介護計画に反映しています。また、情報は職員全員が発言出来、共有出来るようにしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の心身の様子、言動、些細な変化等も詳細に記録に残し、職員全体で共有し、定期的にモニタリングシプランの見直しをしています。個別支援計画に変更し、職員みずからが必要なケアを考え見つけて行くようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	希望や状況により、マッサージ、リハビリ等の提案や探す手伝い・対応・報告等支援しています。2階ではご希望が3件あり、それぞれのご要望に応じ探すお手伝い、立ち合い・報告等対応をしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ感染症が5類になり、周辺地域の支援によりイベント等の情報や設備の利用や参加を無理のないよう支援を再開しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及びご家族様が安心して信頼出来るかかりつけ医を選択し、利用できるよう、複数の医療機関と連携をし支援しています。ご家族の心配・要望に応じた新たなかかりつけ医等も対応しています。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度の訪問看護師による日常の健康管理を行い、必要に応じて個々のかかりつけ医と連携をはかっております。定期的に看護、介護でカンファレンスを行うい、お互いの気づきを情報交換し、適切な受診、看護を受けれるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時必要に応じて病院に伺い病状や今後の対応について説明を受け、ご本人にとって最適な環境整備が出来るよう主治医との面談にも同席することがあります。かかりつけ医とは退院前に情報共有をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日々の身体の様子を詳細にご家族様に伝え、同時にかかりつけ医への相談を行い終末期の指針を定め、関係者で何度も相談をしチームケアでの支援に努めます。また、思いや方針が変わる事も想定し、臨機応変に対応しています。他フロア職員にも協力を仰ぎ全館で取り組む事もあります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変、事故発生時の対応はマニュアル等で周知し、全職員で原因・対策について話し合い、再発防止に努めています。また、発生日や翌日の早い段階で会議を開き、原因や対策等、情報共有をしています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進委員会や地域の消防署より情報を得ています。避難訓練の回数、内容を増やして実施、担当者による定期的な備蓄の確認をしています。消防署、地域の方と連携をした避難訓練を行い継続予定です。また、施設内の避難訓練結果は消防署にも報告しています。3階は避難に時間がかかる事も含めた訓練・対策を周知しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人を理解し丁寧な言葉での声掛け、対応を心がけ、また周囲の方を気にすることがないように、内容、声の大きさ、声掛けの場面等も考慮しています。2階は意思表示が難しい方が複数名おり、顔色、声のトーン等からも汲み取れるような声掛けを行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言いやすい雰囲気作り、1対1で時間をかけた対応をしています。自己決定が難しい方は、今までの生活歴等から簡単な質疑等工夫をし、可能な限りの自己決定の支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日を通して、本人のリズムやペースを大切にし、希望は最優先に検討し、可能な限り実行しています。ご本人との関りからヒントを得たその方が喜ぶ提案もしています。またご家族にヒント		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容の導入、本人の希望を優先し、複数の選択肢の中から選べるような支援をしています。日常の整容や一緒に服を選ぶ等おしゃれを楽しめるようにしています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に負担にならないように配慮しながら、食事の盛り付けや片付けに参加頂いています。食事中も職員2名が同席し安全かつ器等視覚や雰囲気も楽しめるよう工夫しています。3階は自立の方も多く、関係性にも配慮を欠かさず対応しています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の好みや嚥下状態に合わせ提供。摂取水分量等記録から不足のないようにし、個々の状態に応じ形状をゼリーやトロミ、夏場はシャーベット等食感や味に変化をつけるなどの工夫をしています。時にはご家族にも協力をして頂き好物の差し入れをしてもらっています。3階は水分制限の有る方がおり、専用容器を用意し、提供回数、タイミング等工夫をしながら対応しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後職員が付き添い口腔ケアを行っています。週1度の訪問歯科との連携を図り、職員は口腔ケアの指導を受け、常に義歯調整や清潔を保てるようにしています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄確認表を設置し、排尿・排便パターンの把握に努め、声掛け介助を行っています。食事、水分量、運動を含め医師へも相談し、薬にだけ頼らずスムーズな排便に繋がるよう支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常より、個々の排便パターン、習慣の把握に努め、水分、食事、運動にて予防しています。また便通に適した運動やおやつの提供、腹部マッサージ等を行っています。3階は年齢共に便秘になる方が多く、薬にだけ頼らないよう小まめな情報交換、管理に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週に2回を目安に行っている。それ以外でも希望に添えるようにしている。また外出等での曜日変更や時間調整にも対応し、心身共にリラックスし楽しめるよう1対1の対応で急かす事のない入浴を心掛けています。性別の希望も柔軟に対応しています。3階は自立の方が2名が一人での入浴を希望しており、近くで待機する形で安全への配慮をしています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各居室にエアコンを完備し気温管理を行っています。生活習慣を大切に照明の明るさを調整したり、いつでもリラックスした休息がとれるように隣室の物音への配慮もしつつ支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各フロア担当により管理、薬の作用や副作用の把握に努め、常に2人以上で確認し服薬介助を行っています。また事故を防ぐ為、薬準備等は薬剤師に依頼し、適宜相談や説明を受けながら、連携を図っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人らしく生活できるよう、出来る事は自分で行えるように支援。好きなこと得意なことの把握に努め本人の希望に添った支援をしています。3階は食事制限のあるご利用者・ご家族と相談をし、夜に少量のフルーツや菓子を提供しています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣への散歩や買い物だけではなく、ドライブや少し距離を伸ばした場所への外出も再開しました。コーヒを飲みにや買い物支援も再開しています。3階はコーヒを飲みにいきたいという希望が多く、コミュニケーションの一環としても色々な職員が対応しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様より、お小遣いをお預かりし所定の場所での保管をし、外出時や買い物の際は希望に応じお金を使用できるように支援しています。3階は希望があり、定期的に出納帳や通帳を確認し、一緒に記帳をしに行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙は希望があればいつでもやり取りができるよう支援しています。またご家族様から預かった手紙を毎日決められた時間に渡す支援もしています。また、レクの一環で押し花はがき作り、手紙の習慣の無い方にも楽しみ名が手紙通信に参加して貰っています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用のスペースには、利用者様と一緒に作成したものや切り花を飾り、季節感を出し目で楽しめるような工夫をしている、また誕生日や、ご家族様の写真を居室に飾っています。3階は塗り絵が得意な方が多く、各種額を職員と作り希望の場所に飾っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個人の居室以外は全て自由に使用でき、ご利用者様同士の交流やくつろぎの場として利用して頂いています。要望に応じた物の配置や飾り付けの手伝い等支援しています。3階は多量の荷物を持参された方おり、ご本人が納得しわかりやすい収納を時間をかけて手伝う支援をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全に配慮し、家具等なじみの物を使用、設置していただき、入居後も本人の希望、生活パターンに合わせ穏やかに過ごせよう家具の配置、持参品の収納提案等環境作りに努めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できること、分かることを大切にし手すりの設置、トイレの場所、居室等わかりやすく、一緒に作成した工作物で表示したり、本人の希望や安全を配慮した環境作りにつとめています。付添いはしますが館内の移動は制限はしていません。		

目標達成計画

事業所名 グループホームみのり 若さん・宮さん
作成日 令和7年10月4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員を育てる取り組みにおいて内部研修や外部研修があまり行えていない	定期的な内部研修及び外部研修に参加できるようにする	内部研修に関しては、年間予定をたて、同法人内からも講師役として協力を仰ぎながらおこない。外部研修に関しては、そのスタッフが悩みや興味のあるものをアナウンスしていく	1年
2					
3					
4					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。